



特長

- 圧縮エアによりエアピストンと油圧ピストンの面積比により高圧油に変換する連続吐出型の油圧ポンプです。増圧比は28、40、50、65までの4モデルからラインアップされています。
- エアと油圧ピストンの高サイクルのレシプロ運動により油圧の連続吐出を行ない設定圧力に近づくとレシプロ運動は低サイクルになり、設定圧力に到達した時点でエアポンプの運動はエア圧力と油圧力がバランスして自動停止します。
- バランス停止している間のポンプのエア消費は“ゼロ”になり、油温上昇や動力損失がない省エネを実現します。
- 油圧力が低下すると自動的にエアポンプが作動し、回路の油圧力を自動補償しますので、圧力制御に関しての特別なセンサや回路は要りません。

用途

油圧クランプ用ユニット/油圧プレス/ダイクッションシステム/防爆仕様の設備/油圧ジャッキアップシステム/各種試験装置/油圧工具用パワーユニット等

仕様

型 式	機 能	増圧比	供給エア圧力 (MPa)	油圧力 (MPa)	最大無負荷吐出量 (ℓ/min)	最大エア消費量 (Nℓ/min)	質量 (kg)	有効油量 (ℓ)
PA07D-02802	単動シリンダ用 (エア手動弁式) ※電磁弁式可能	28倍	0.2~0.6	4.5~17.8	1.81	350	15	1.7
PA07D-04002		40倍		6.8~25.7	1.45			
PA07D-05002		50倍		8.1~30.5	1.28			
PA07D-06502		65倍		10.4~40.5	1.03			
PA07M4-02802	複動シリンダ用 (手動式油圧弁搭載)	28倍	0.2~0.6	4.5~17.8	1.81	350	16	1.7
PA07M4-04002		40倍		6.8~25.7	1.45			
PA07M4-05002		50倍		8.1~30.5	1.28			
PA07M4-06502		65倍		10.4~40.5	1.03			
PA07S2-02802 ※	(注1) 複動シリンダ用 (電磁式油圧弁搭載)	28倍	0.2~0.6	4.5~17.8	1.81	350	17	1.7
PA07S2-04002 ※		40倍		6.8~25.7	1.45			
PA07S2-05002 ※		50倍		8.1~30.5	1.28			
PA07S2-06502 ※		65倍		10.4~40.5	1.03			
PA07M1-02802	リモート用 (外部回路別置型)	28倍	0.2~0.6	4.5~17.8	1.81	350	13	1.7
PA07M1-04002		40倍		6.8~25.7	1.45			
PA07M1-05002		50倍		8.1~30.5	1.28			
PA07M1-06502		65倍		10.4~40.5	1.03			

※ (注1) 電磁弁の電圧選定は型式末尾に記号を付けて下さい。(A: AC100V D: AC200V C: DC24V)

● ☐ 内を訂正しました。